



令和7年4月30日

新宿区立江戸川小学校

学校だより No. 712

## チームで育てる

副校長 松本 浩二

1学期がスタートして、早くも一か月が過ぎようとしています。4月18日に1年生を迎える会が開かれました。6年生に手をつないでもらって、少し緊張しながら体育館に入場する1年生でしたが、上の学年のお兄さん、お姉さんに優しい笑顔で迎えられて嬉しそうな顔をしていました。2年生からのプレゼントや代表委員によるクイズなど、1年生を歓迎する出し物が続き、とても温かい雰囲気のある会になりました。1年生はひらがなの学習が始まり、宿題も出始めて、本格的に江戸川小学校での生活を始めてきました。2年生以上の子どもたちも一つずつ上の学年に進級しました。新しいクラスのお友達や学年の先生、専科の先生とも慣れてきて、楽しく充実した学校生活を送っているようです。特に6年生は、朝の1年生のお世話をしたり入学式後の体育館の片付けをしたりと、最高学年として頼もしい働きを見せてくれています。

さて、子どもたちの1学期がスタートする数日前、江戸川小学校の職員も子どもたちを迎える準備を始めました。4月1日の初日から、職員室は活発に意見交換をする声に溢れていました。私自身、新しく赴任してきて緊張していたのですが、教員としてのキャリアや立場を超えて伝え合ったり教え合ったりする教職員の姿にとっても驚きました。

本校では過去3年間、教科担任制を軸にして校内研究を進めてきました。教科担任制を取り入れるメリットはいくつもありますが、その中の一つに「同僚性の高まり」があります。私が初日に職員室で感じた驚きの元をたどっていくと、教科担任制の研究に取り組んできた江戸川小学校の一つの成果の表れにあると考えられます。この他にも高学年を中心に教科担任制を続けてきた様々な成果が、子どもたちにも教員にも出ています。

今年度も、これまでの研究を基にして、教科担任制の考え方を取り入れて低学年・中学年・高学年のチームで授業を進めていきます。教科担任制もちろんですが、それぞれの学年の発達段階に合わせて担任同士での授業交換をしたり、ティームティーチングの形をとったりと、江戸川小の子どもたちに合わせた指導の在り方を考え、実施していきます。また、チームには専科教員や特別支援教育推進員、エデュケーション・アシスタント、学習指導支援員等、様々な立場の職員も入っています。多くの教職員が子どもたちに接していくことで、より多面的に子どもたちの姿を捉えることができます。それによって子どもたち一人ひとりへのよりよい支援を目指していきます。

今年度も教職員一同、協力して子どもたちの成長を支えていきます。保護者の皆様、地域の皆様にはご協力をいただくことが多くあると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

### 5月 生活目標

健康で安全な生活をしよう

### 5月 給食目標

食べ物や食器を大切にしよう

### 校長談話室

本年度も、「校長談話室」の時間を設けていきます。今月は、5月7日(水)13日(火)10:00～12:00です。一人でも、お誘い合わせでも、どうぞお気軽にご来校ください。(3266-1602 副校長まで) ※予約なしでも可

